

# 西宮市 消防訓練 施設

INFORMATION BOOK



**西宮市消防訓練施設**  
〒663-8155  
兵庫県西宮市甲子園浜2丁目10番地

**アクセス**

**バスで**  
阪神バス「南甲子園小学校前」で下車 南へ徒歩約25分

**お車で**  
上り：阪神高速5号湾岸線「甲子園浜出口」から約3分  
下り：阪神高速5号湾岸線「鳴尾浜出口」から約5分

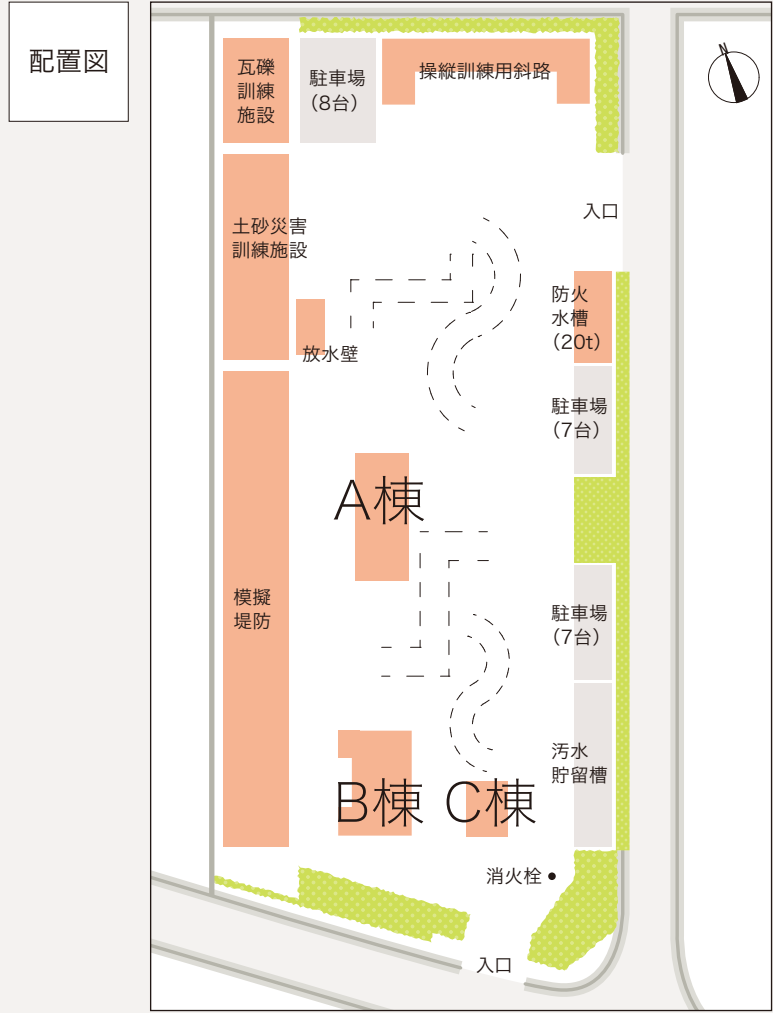




基本理念 Principle

# 市民の皆さまの 更なる安全のために

大規模災害や突発的自然災害が多発する昨今、消防に求められることは増々多くなっています。そのような中、西宮市消防局は各種災害への対応力向上に向けた訓練施設を新設し、この施設を拠点に日々の訓練を一層強化するとともに、予防・啓発活動の促進を図ることとなりました。何より、市民の皆様の安心・安全に寄与できるよう常に思いやりを持って全力で活動に取り組んでいきます。



施設概要

- 兵庫県西宮市甲子園浜2丁目10番地  
敷地面積/8,814.89㎡  
建築面積/338.14㎡ 延床面積/963.81㎡
- A棟 鉄筋コンクリート造 地上7階建  
建築面積/133.72㎡ 延床面積/571.81㎡
  - B棟 鉄筋コンクリート造 地上2階建  
建築面積/156.21㎡ 延床面積/296.00㎡
  - C棟 鉄筋コンクリート造 地上2階建  
建築面積/48.21㎡ 延床面積/96.00㎡

# 訓練は現場のごとく、 現場は訓練のごとくが鉄則

火災、交通事故、集団災害、土砂災害、建物倒壊などありとあらゆる災害を想定し、訓練を行います。基本を常日頃から体に染みつかせておくこと、多種多様な想定訓練を経験することで、何が起るかわからない災害現場において、状況観察し、ひとつ先を考えながら活動できる力を養います。



1

## 実火災想定訓練

複数の部隊が連携し、中継送水訓練、火災検索救助訓練などを行う総合的な火災訓練です。



2

## 消防救助技術大会訓練

消防救助技術大会とは、救助隊員が日頃の訓練成果を披露するとともにお互いの習得した救助技術を競い、技術の向上を図ることで市民の皆さまの安心・安全の実現を図ることを目的に実施されるものです。

### ▶ロープブリッジ渡過

A・B棟間に張られた20mのロープを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で渡り、その安全確実性と所要時間を競います。

### ▶障害突破

B・C棟において4人1組の隊員が緊密な連携で「高塀を乗り越える」「はしごを登る」「ロープを渡る」「降りる」「煙道を通る」という5つの障害を突破し、その安全確実性と所要時間を競います。

### ▶ロープブリッジ救出

A・B棟間において3人1組でロープを渡り対面する棟上へ進入し、要救助者をけん引して救出後、脱出するまでの安全確実性と所要時間を競います。

### ▶引揚救助

A棟において4人1組で、2人が棟下に至り、要救助者を救出し、他の2人と協力して棟上へ引揚げ、救助・脱出するまでの安全確実性と所要時間を競います。

### ▶はしご登はん

命綱を作成後、A棟に設置している15mのはしごを登り、その安全確実性と所要時間を競います。

### ▶ほふく救出

2人1組で、1人が空気呼吸器を着装後、8mの煙道内を人命検索し要救助者を救出、搬送するまでの安全確実性と所要時間を競います。

### ▶ロープ応用登はん

A棟において登はん者と補助者が2人1組で協力し、高さ15m到達地点まで器具を使わずロープを登り、その安全確実性と所要時間を競います。

3

## 消防団ポンプ操法訓練

市内各地区対抗のポンプ操法大会に向け、消防ポンプ自動車等の使用に必要な技術を修得するための訓練です。



4

## はしご車接梯訓練

火災時など、マンションのベランダに取り残された人を助ける訓練です。



5

## 車両走行訓練

クランクやS字、坂道等のコースを利用して、安全で迅速な緊急走行を行うための訓練です。



6

## 山岳救助訓練

山の急斜面や足場の悪い危険な場所で、負傷者を救出する訓練です。



7

## 瓦礫救助訓練

地震災害など、倒壊したビル等の瓦礫の中から負傷者を救出する訓練です。



8

## 水防工法訓練

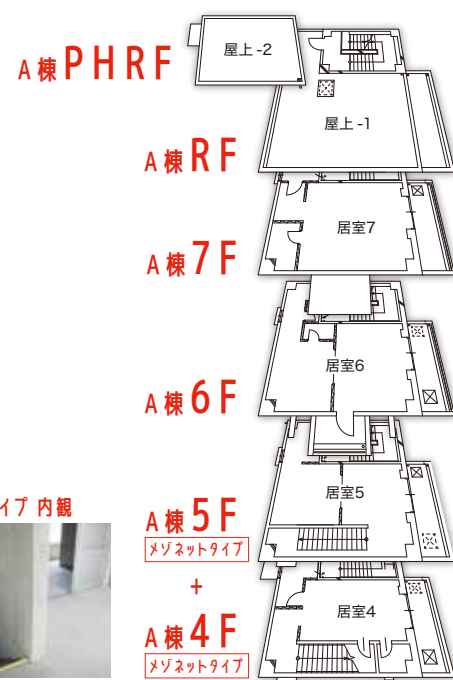
台風などによる水害に備え、土のう作成や堤防の崩れを防ぐシートを設置する訓練です。



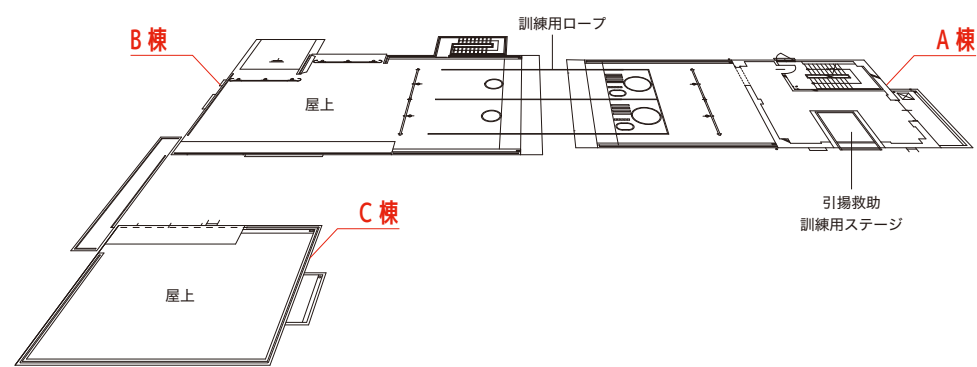
# 現場に近い環境での訓練が可能

実火災に対する消防活動のような、複数隊が連携した訓練が実施できる大規模な施設です。戸建て住宅やメゾネットタイプの集合住宅など多様な間取りを備え、さらに屋内において消火薬剤を含めた実放水訓練もできます。

A棟 4F・5F  
メゾネットタイプ 内観

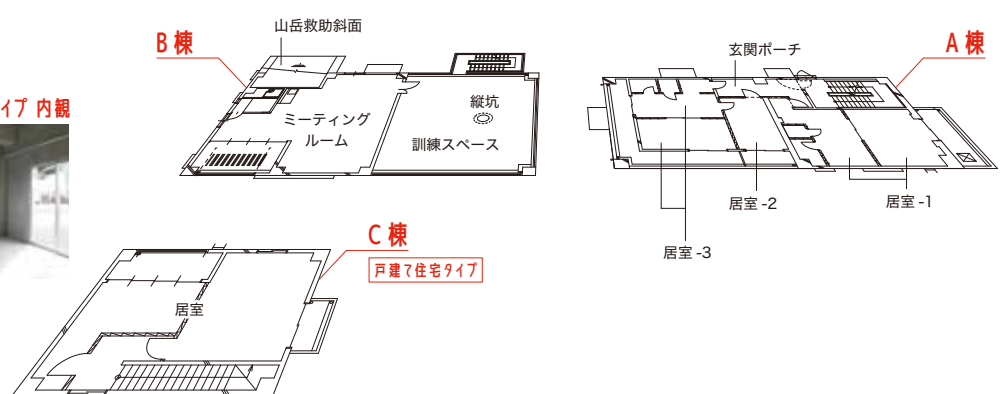


## 3F



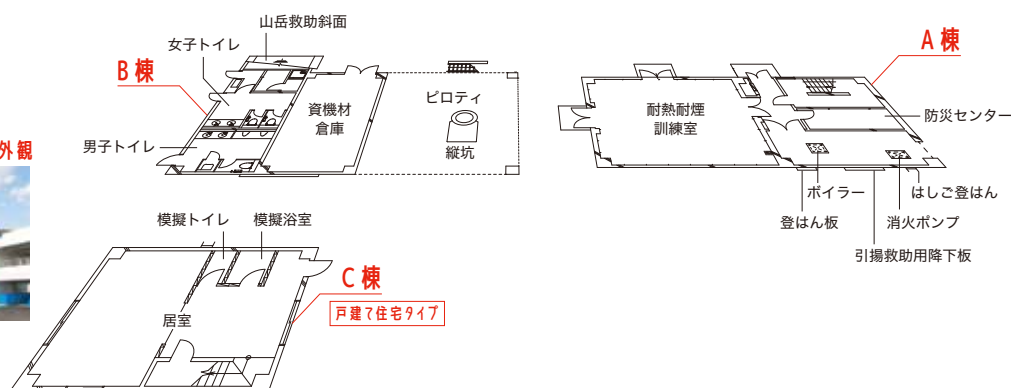
## 2F

C棟 戸建て住宅タイプ 内観



## 1F

C棟 戸建て住宅タイプ 外観



## 主な訓練施設

### ▶耐熱耐煙訓練室

蒸気を用いて室内を高温にするとともに、視界不良を再現することで、実火災に近い環境で訓練を実施できます。



### ▶防災センター

火災等の監視と消防設備等の制御を行う管理施設で、自動火災報知設備などの操作が実施できます。



### ▶放水壁

戸建て住宅の窓と同じ高さに設置した開口部に放水し、屋内への放水の入り方を検証することで、実践的な放水訓練が実施できます。



### ▶縦坑(マンホール)

下水道などの出入口が狭い垂直に掘り下げられた坑道内における酸素欠乏、ガス中毒等の事故対応訓練を実施できます。



### ▶電柱

電柱上での救助を想定した訓練が実施できます。また、はしご車接梯訓練の活動障害の再現にも役立ちます。



### ▶消防水利

実際に市内に設置されているものと同じ仕様の消火栓、防火水槽から取水し、放水訓練を実施できます。



## 訓練体験 Emergency drill experience

消防職・団員の訓練だけでなく、消防協力隊、自衛消防隊、自主防災会などの訓練としても活用できます。

### ▶耐熱耐煙訓練室での煙体験

ここで体験 耐熱耐煙訓練室

人体に無害な煙で火災時のような濃煙状態を作り出し、避難訓練を実施できます。火災を疑似体験することによって、実際の火災に遭遇してもパニックを起こしにくくする効果が期待できます。所要時間:30分/対象者:一般市民



### ▶避難ハッチを用いた避難体験

ここで体験 A棟バルコニー

マンションのバルコニーに設置されている避難はしごを使用した避難訓練を実施できます。実物と同じはしごを使用することで、確実に避難方法を習得できます。所要時間:30分/対象者:一般市民



### ▶屋内消火栓を用いた放水体験

ここで体験 A棟1階

市民の皆さんが使用する屋内消火栓で放水体験を実施できます。実物を用いて訓練しておくことで火災に遭遇しても、落ち着いて消火活動を実施できます。所要時間:30分/対象者:一般市民

